

令和6年度の重点課題

○運動やスポーツに対して、肯定的な思いをもっていると回答している児童が男女問わず多いが、否定的な思いをもっている児童も一定数いる。

○「握力」、「上体おこし」、「反復横跳び」、「20mシャトルラン」、「50m走」において、男子の記録が、平均を下回っている。

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較

性別	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	16.45	16.17	35.33	39.42	45.33	9.53	170.00	19.50	53.18
女子	18.50	16.94	41.06	38.35	36.88	10.06	175.71	13.29	56.3

県平均値かつ全国平均値未満

令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較

性別	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	16.45	16.17	35.33	39.42	45.33	9.53	170.00	19.50	53.18
女子	18.50	16.94	41.06	38.35	36.88	10.06	175.71	13.29	56.3

県平均値かつ全国平均値未満

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

性別	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い	性別	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	83.33	8.33	8.33	0.00	女子	70.59	23.53	5.88	0.00

学校独自の意識調査

上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項

○体育の授業で行うサーキットトレーニングで、反復横跳びやタイヤ跳びなどを行い、リズムよく跳躍する体験を増やした。

○児童会の体育委員会が主体となって、大縄大会を開催し、全校児童がそれに向けて大縄跳びの練習に励んだ。それにより、外遊びの時間が増えたり、なわとびに必要な調整力を育んだりすることができた。

重点課題

情意面での課題

○共通
・運動やスポーツをすることが好き、またはやや好きと、肯定的に答える児童の割合が高い(約94%)が、男女とも1名ずつ否定的な思いをもっている児童がいる。

体力面での課題

○男女共通
・「上体起こし」、「反復横跳び」、「20mシャトルラン」、「50m走」、「ボール投げ」において、県平均値かつ全国平均値より低い。

重点課題に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

○年間を通して、体育の準備体操(10分程度)の中に、ACP(アクティブチャイルドプログラム)を取り入れ、学習内容に適した準備運動の時間になるよう、「大朝版セットメニュー」を参考にする。
 ・体じゃんけん
 ・ひざタッチ相撲
 ・各種鬼遊び 等

体育の授業以外で行う取組内容

○職員体育研修を行い、ACPの運動遊びや伝承遊びへの理解を深めたり、運動領域ごとに行うとよい準備運動を体験したりすることで、体育授業の運動量の確保と充実を図る。
 ○体育の準備運動で体験した様々な運動遊び・伝承遊びを、休憩時間や学級レクの時間に児童が進んで取り組むよう促す。
 ○児童会の体育委員会が主体となり、「大縄大会」や「タイヤとびドンじゃんけん大会」を実施し、学級遊びの推進を図る。

令和8年度の重点目標値

○運動やスポーツが好き、やや好きと、肯定的に回答する児童の割合を男女とも90%以上を維持する。
 ○体育の授業が楽しい、やや楽しいと、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。